

書評

「生きた知識」とは

横浜市金沢区 関口 武三郎



『学力喪失—認知科学による回復への道筋』 著者：今井 むつみ 岩波新書、2024年9月、1,276円（税込）

人間は赤ちゃんの時から、赤ちゃんは飽きもせず、以前学んだ知識を組み合わせて使用し、修正を繰り返して、次第に自分の知識として習得してゆく本能を持っているという。

乳児が本当にしたいのは「結果がうまくできる方法を見つけたこと」ではなく、「なぜ、こうするとうまくいき、こうするとうまくいかないのか」を知りたいのである。

著者の今井氏は慶應義塾大学名誉教授で認知科学の専門家であり、『学びとは何か—探究人』になるために、『ことばと思考』、『何回説明しても伝わらない—はなせ起るのか。』など多くの著書がある。



星野 素子先生 (横浜市港南区歯)

《プロフィール》 1980年日本歯科大学歯学部卒業。昭和大学歯学部第3補綴学教室に4年勤務。結婚退職。横浜市内の個人病院非常勤勤務を経て1997年「いもと歯科クリニック」を開業。現在神奈川県保険医協会 女性医師・歯科医師の会（JOY会）世話人。

入れ歯はイヤ、を減らしたい 理解深めて「相棒」に

患者の探求心くすぐる

「歯医者として、今一番なれる入れ歯を、作りたい」の興味は、多くの方が入れ歯に励ましたりせぬよう啓蒙している。それを少しでも減らすために何が出来るか。使う方のお口の相棒に

「歯医者として、今一番なれる入れ歯を、作りたい」の興味は、多くの方が入れ歯に励ましたりせぬよう啓蒙している。それを少しでも減らすために何が出来るか。使う方のお口の相棒に



JOY会・ポタニカルキャンドル手作り体験教室にて（前列右から二人目が本人。2021.11.25）。歯学部を選んだ理由は高校の担任から「手に職を付ける」と言われたから。そして、若くして急逝した父の葬儀にて、父が入れ歯を着けていないことに気付いた父の友人達が、入れ歯の中に入れて三途の川を渡らせようとしていたから。ただ、死後硬直で口は開かず、苦しんでいた父の友人達の後ろ姿が印象に残っている。

治療計画書とともに手書きのメモを渡す。多少字が乱れているのは愛嬌。オスマスの本も紹介する。実物がある分かなりやすいの

共済セミナー 投資トラブルは予防が重要



講師の萩原氏

共済部は5月28日に共済セミナー「投資トラブルを防ぐための注意点」を開催。講師は公益社団法人 全国消費生活相談員協会の萩原規子氏が務め、現地・WEB合わせて16名が参加した。

「接遇力」セミナー 良い接遇で高まる医療安全

組織部では4月22日、「医療安全のために高めよう！『接遇力』セミナー」を実施。大正製薬株式会社・医療情報担当者（MR）が講師を務め、WEBライブ配信限定で188名以上が参加した。

今の若い子達は賢くて、スマホで何でも調べてくれる。がん患者さんらは自身の病状や薬についてたくさん調べてたくさん学ぶ。すごいな、と思うからこそ押し付けがましい。パラリンピアンにとって義手や義足は相棒。義歯を同じように捉えてくれたらどんな嬉しいか。

「東京まで学びに行くのは大変だから、絶対に入らねよ」と。そして研究会へ参加した際、話し掛けてくれた先生と縁が生まれ、あれあれと協会の女性医師・歯科医師の会（JOY会）世話人に。今その先生とはLINEを通して義歯の話で盛り上がり、会食を楽しむ仲だ。

活動報告 quick reports